

社

協

だより



令和6年度社会福祉法人越生町社会福祉協議会

# 社会福祉大会を開催します!



## 福祉講演会

### 演題：「最期まで目一杯生きる」

講師：萬田診療所 院長 萬田 緑平

「あなたは死の前日まで歩いていたいですか？」  
人生の終末期、がんとともに生きるための「緩和ケア」  
現場からの最新報告です。

プログラム、詳細は次ページをご覧ください。

☆ NHK ヒューマニエンス 40億年のたくらみ (2023年11月23日放送)  
「死の迎え方」～ヒトの穏やかな死とは～ にゲスト出演!

日時：令和6年11月17日（日）午前9時30分から正午まで

場所：越生町中央公民館 視聴覚ホール（入場無料）

※同日開催：介護亭楽珍さんによる落語「三途の川の渡り方」もお楽しみください！

人であれば、必ず等しく訪れる「死」について、優しく笑いながら落語で学びましょう。必聴です。笑い泣き必至、ハンカチのご用意を。

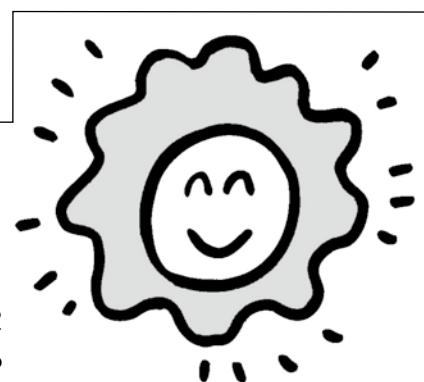


発行：社会福祉法人 越生町社会福祉協議会

〒350-0416 越生町大字越生908-12

TEL 292-2977 FAX 292-5616

URL <http://www.ogose-shakyo.or.jp>  
E-mail [info@ogose-shakyo.or.jp](mailto:info@ogose-shakyo.or.jp)



# 福祉講演会プログラム

午前 9時00分 視聴覚ホール開場

9時30分 開会

主催者挨拶

社会福祉法人越生町社会福祉協議会会長 新井雄啓  
社協功労者表彰（7名）

来賓挨拶

越生町長 新井康之 様

10時00分 落語

演目：三途の川の渡り方

あのよーエンターテインメント代表 介護亭楽珍 様

10時30分 講演

演題：最期まで目一杯生きる

萬田診療所 院長 萬田緑平 先生

12時00分 閉会

最期まで自分らしく生き抜くとは？どんな生き方なのか？

あなたはどんな「死」を迎えるのですか？

- ・萬田緑平医師が出逢った、最期まで自分を貫き生き抜いた人、  
そしてそれを支えた家族の生き様を、笑いと涙でお送りする講演会です。  
生きる事とは、死ぬ事とはなんなのか。今の時代に問いかけます。

## ＜萬田緑平先生略歴＞

1964年生まれ。平成3年群馬大学医学部を卒業。平成4年4月から平成20年3月、群馬大学第一外科に所属。群馬県内外各病院の外科に勤務。平成20年4月から平成29年3月、緩和ケア診療所「いっぽ」に勤務。在宅緩和ケア医として1,400人の患者の看取りに関わる。平成29年4月から現在に至るまで、緩和ケア萬田診療所院長として勤務。

## あのよーエンターテインメントへようこそ



歳をとっても、幾つになっても、楽しむ事を忘れずに生き生きと走り抜ける事を  
目指すとともに、自分の経験や想いを世の中に伝えていきます。

色々な分野のスペシャリストたちが、エンターテイナーとして活動しています。

代表 介護亭楽珍（内村永徳） 副代表 萬田緑平

＜エンターテイナー＞ 新井 薫 中島麻衣子 荒川健司 根岸正勝

# 夏のボランティア体験プログラム

## ～暑い夏休み！中高生のボランティア体験～



おごせ福祉作業所でのボランティア体験  
小鷹あかねさん（写真中央 坂戸西高校1年生）  
長峰葉月さん（写真左奥 坂戸西高校1年生）

おごせ福祉作業所では、ボランティアというものの、通所されている知的障がいのある利用者さんから作業内容を教わる場面があったり、職員の利用者さんに対する配慮や対応について、大変に勉強になったとの感想をいただいております。他の施設でも、利用者さんや介護職員から沢山の事を教えていただいた貴重な一日となりました。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策等の各施設の事情があり、ボランティア受入を中止した施設もありました。施設の皆様には、



ケアハウス光の丘でのボランティア体験  
皆川杏朱さん（写真中央右 越生中学校3年生）

越生町内在住または在学の中学生・高校生が、夏休み期間を利用して、福祉施設にてボランティア体験を行う“彩の国夏のボランティア体験プログラム”を実施しました。

今年も、猛暑が続く夏休みの間に、20名の中高生が各福祉施設でボランティア体験をしました。

今年度は新たに「ケアハウス光の丘」様と「グループホーム越生町やすらぎ」様がボランティア体験の受入れをしていただき、「おごせ福祉作業所」様「介護よろずや風の家」様「デイサービス松風」様の計5施設のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。



デイサービス松風でのボランティア体験  
丸山蒼太さん（写真中央左 武蔵越生高校3年生）  
高橋瑠名さん（写真中央右 武蔵越生高校3年生）

今後とも可能な範囲でのご協力をお願いいたします。

今回体験した中高生の皆様、これからの進路決定や将来の職業選択の手助けになれば幸いです。

施設の皆様からエールをいただいています。  
「頑張って！」



# 梅園小学校4年生

## ～福祉についての体験学習～

社協では、町内の各学校における福祉教育についても、積極的にお手伝いをさせていただいております。児童・生徒の皆様に「福祉」や「ボランティア」について興味や関心をもっていただけるように学習のお手伝いをさせていただいております。

去る6月21日には「手話体験講座」を行い、越生町手話サークル講師の若林弘明さん(右の写真中央)と同会長の奥泉和彦さん(右の写真右側)に手話について教えていただきました。講師の若林さんからは、聴覚障がいのある当事者としての様々な経験についても説明していただきました。



6月25日には「車イス体験」と「アイマスク(ガイドヘルプ)体験」を行いました。社協職員が講師となり、障がいについて説明した後、介助を行う体験と介助を受ける体験を交代で行っていただきました。



最終回の6月28日には、川越市にお住いの内藤夏子さん(右の写真中央)と盲導犬アイザック号にお越しいただき「視覚障がいと盲導犬との生活について」お話しをしていただきました。

当日は、4年生の児童が内藤さんに付き添う場面があり「声のかけ方も、誘導の仕方もとても良いですね。ありがとう。」と評価していただきました。

梅園小学校4年生のみなさん、今回の経験を今後に活かしていってください。応援しています！





# 赤い羽根共同募金

今年も10月1日(火)より赤い羽根共同募金運動がはじまります。越生町内の募金は、約半分が越生町内に配分金として戻ってきます。そして、越生町内の地区サロン・ふれあいいきいきサロンやボランティア団体事業の補助金などに充てられます。その他、公的財源が行き届かない、県内の福祉施設やボランティア活動の費用、国内被災地の災害救援活動にも役立てられます。

10月1日(火)午前8時より午前9時まで、越生駅にて街頭募金を行う他、以下の募金ボランティアの皆様や事業所(店舗)の方々と一緒に募金のご協力を呼びかけさせていただきますので、募金運動へのご協力をよろしくお願ひいたします。

募金運動種別	戸別募金	学校募金	職域募金
実施予定日 実施期間	10月1日(火) ～10月31日(木)	10月1日(火) ～12月27日(金)	10月1日(火)
実施場所・エリア	越生町内各地区自治会内	町内小中学校3校 ・高等学校3校	町役場と関係機関各事務所・町内公民館等
募金ボランティア	各地区内役員 ・募金ボランティア	生徒会 ・募金ボランティア他	越生町社会福祉協議会
募金箱設置協力店	ラーメンショップ太郎・ニューサンピア埼玉おごせ・ビオリゾート ホテル&スパ オーパークおごせ・ウエルシア越生店 その他の事業所や公共機関窓口に設置協力をいただく予定です。		

※順不同・敬称略

## 福祉の仕事地域就職相談会

### ～地域を支える福祉のお仕事してみませんか？～

飯能市、日高市、毛呂山町、越生町の福祉施設が集まる就職相談会を開催します。

無資格・未経験で働ける職場もありますので、お話だけでも聞きに来てください。

▼日 時 令和6年10月29日 火曜日 14:00～15:30

▼場 所 飯能市市民活動センター 飯能市栄町24番地4 丸広百貨店7階

▼参加費 無料

▼対 象 「福祉の職場に就職を希望する方」「福祉の仕事に興味・関心のある方」「福祉の職場や資格などについて知りたい方」 定員20人(予約制)

▼詳しくはホームページでお知らせします。「埼玉県福祉人材センター」で検索してください。

問合せ先 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉人材センター

☎048-833-8033(月曜日～金曜日 10:00～17:00 祝日を除く)



# 登下校時見守りボランティアを募集します



登下校時の生徒さんの見守りを行うボランティアさんを大募集いたします。

防犯パトロールは、地域内を見回りながら子どもたちにあいさつ等の声掛けをし、子どもたちの登下校を見守る活動です。

越生町内でのこの活動は、県外で子どもたちの関わる事件が発生し、それを受けた町民の方々が「越生町で同じ事件が起きてほしくない。自分たちに出来ることをやりたい。」と考え、徐々に広がっていきました。地域の皆さんのがんばりや活動の姿を見せたり、子どもたちとあいさつを交わしたり、すれ違う人に積極的に声かけをすることで、地域の防犯力を高めることができます。

登下校時見守りボランティアさんになられた方には、本会より、見守り時にご使用いただくジャンパーや腕章、帽子などのグッズを貸与します。「ボランティアを始めてみたいけど、どんなことから始めていいかわからない。」「子どもたちの安全を守りたい！」という方は、ぜひ登下校時見守りボランティアを始めてみてはいかがでしょうか。ご興味のある方は、本会までご連絡ください。

## 「令和6年7月大雨災害義援金」の募集について

このたびの災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年7月25日からの大雨により、東北地方において洪水や河川氾濫等により人的及び家屋に甚大な被害が発生し、秋田県・山形県内の市町村に災害救助法が適用されました。

こうした状況をうけて、被災地の秋田県共同募金会および山形県共同募金会では、被災された方々を支援するために義援金の募集を行っています。義援金は、本会窓口にてお預かりし中央共同募金会に送金するほか、特定の被災県に直接送金することも可能です。

皆様からお寄せいただいた義援金は、被災県において取りまとめられ、設置される配分委員会において配分額を決定し、被災市町村を通じて被災者へ配分されます。

なお、被災県ごとに義援金受入窓口を設けておりますので、詳細は各ホームページをご覧ください。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

被災県共同募金会	対象となる災害	義援金の受付期間
秋田県共同募金会	令和6年7月大雨災害	令和6年8月1日～令和6年12月27日
山形県共同募金会	令和6年7月大雨災害	令和6年8月1日～令和6年12月27日

※中央共同募金会では、義援金受入口座を開設しています。

中央共同募金会が受け入れた義援金は、秋田県・山形県の被災状況により按分し、その全額を秋田県共同募金会および山形県共同募金会の義援金受付口座に送金いたします。